

進路だより

第5号

令和6年2月9日

県立美浦特別支援学校 進路指導部



特集 小学部の進路学習

小学部5・6年の進路学習（働く人を知ろう）

★将来に向けて小学部として大切にしていること

- | | |
|-------------------|----------------|
| ・ 基本的な生活習慣の確立 | → 自立する力を育てる |
| ・ 意欲的に取り組む力を身に付ける | → 働くことへの関心を高める |
| ・ 人と楽しくかかわる経験を積む | → 社会参加へつなげる |

今回は小学部5年生では「学校で働く人」、6年生では「いろいろな仕事」の学習について紹介します。

■5年生の取り組み「学校で働く人を調べよう」

- ・自分たちの登校から下校までの学校生活場面を思い起こすことで、先生以外にも様々な人が働いていることに気が付きました。（給食の栄養教諭・調理員さん、保健室の先生、用務員さん、スクールサポートスタッフさん）

「学校で働く人を調べよう①」【給食の栄養教諭、調理員さん】

- ・学校で働く人を考える中で、児童が最初に思いついたのが調理員さんでした。なんとなく調理をしてくれる方というイメージはもっていましたが、実際に働いているところを見学したり、質問をしたりすることによって衛生面で細心の注意を払わなければいけないことや体力的にもかなりの重労働だということに気付き、働くことの大変さを少しですが実感することができました。働いていて嬉しいこととはという質問に「みんなが美味しいと言って食べてくれること」と聞き「残さないで食べよう」と働く人への感謝の気持ちをもつことができました。

「学校で働く人を調べよう②」【スクールサポートスタッフさん】

- ・普段から清掃の作業などで見かけることはありましたが、仕事の内容や一日どのように働いているかなどを実際にお話することは児童にとって初めての経験でした。お二人とも本校の卒業生だということを知り、より身近に感じたようです。質問はお仕事のことだけでなく普段の生活についても聞くことができ、将来の生活などについてもイメージをもつことができた児童もいました。

■6年生の取り組み「身近に見られる職業を知ろう」

- ・身近に見られる職業について調べ学習を行いました。また、実際に仕事をしている様子を見学に行き、いろいろな仕事について知ることができました。

「いろいろな仕事」

- ・身近な職業について調べました。家族の職業や気になっている職業などを一人一人が選び、本や図鑑、タブレットで調べていきました。調べて分かった仕事の内容やその職業に就くために大切なことなどをワークシートにまとめ、発表しました。「パン屋さん」「寿司職人」「警察官」など、様々な職業について調べることができました。

「工場について知ろう」

- ・雪印メグミルク阿見工場に見学に行きました。事前学習では、どんな製品が作られているかを調べたり、それぞれの製品はどのように作られているのか動画を見たりしました。調べていく中で、疑問や知りたいことが出てきたので、当日質問することにしました。校外学習当日は、製品が作られているところを見学したり、実際に働いている方へ来てきた質問をして教えてもらったりしました。普段食べているものがいろいろな工程を経て大切に作られていることを知ることができました。また仕事で気を付けていることなども聞くことができ、働くことへの興味や関心を高めることができました。

学習全体を通して、自分もやってみたいという意欲がわいたり、こんな仕事に就いてみたいなどの声が聞かれたりしました。また、質問に関しても普段目にする部分だけでなく、見えない部分についても、どんなことをしているのか自分たちで考えた質問を通して知ることができました。働くということのイメージをもつことは難しい部分もありますが、働く人の大変さや周りで働いてる方への感謝の気持ちなどをもつことができました。

卒業生情報

令和4年度卒業生 滝澤賢希さん

就職先：フードスクエアカスミ阿見店



滝澤さんは、今年の春からフードスクエアカスミ阿見店で働いています。仕事は週5日で、自転車通勤をしています。主な仕事は品出し作業になります。そんな滝澤さんにお話を伺いました。

Q：仕事は慣れましたか。

「徐々に慣れてきました。たまに、お客様に知らない商品について聞かれることがありますが、「少々お待ちください。」と伝え、近くの従業員に報告して対応しています。品出しの仕事は好きなので楽しいです。」

Q：休日はどのように過ごしていますか。

「たまにカラオケに行ったり、買い物をしたりして息抜きをしています。好きなお菓子を買うことも楽しいです。何か欲しいものがあるときは、買い物をひかえたりして、給料を計画的に使うようにしています。」

お家の方からは、在学中の現場実習で品出しの仕事を経験し、本人が意欲的に向き合うことができたこと、企業側からも受け入れの話をいただけたことで進路決定をすることができたということでした。今後のますますのご活躍を願っております。ありがとうございました。

福祉サービス・新規事業所情報

福祉事業所

就労支援センター tetote

サービス：就労継続支援B型

場 所：阿見町阿見 1744-161

そ の 他：作業内容（チラシ、ボールペン入れ、軽作業）

相談支援センターtetote（相談支援事業所）も併設

送迎範囲（事業所より30分以内であれば相談可）

問い合わせ先：029-869-9202

mihotoku 就労支援シンポジウム

12月26日（火）本校主催「mihotoku 就労支援シンポジウム」を開催しました。

企業の方や関係機関、卒業生保護者、本校職員がパネリストとなり、様々な観点からシンポジウムテーマである「それぞれの“働き”や社会参加に向けて～障害のある人の一般就労に向けて育む力と準備性～」についてお話をいただきました。

当日は本校職員、保護者、近隣小中学校、高等学校の先生方約80名に参加していただきました。ご参加いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

